

事業概要シート

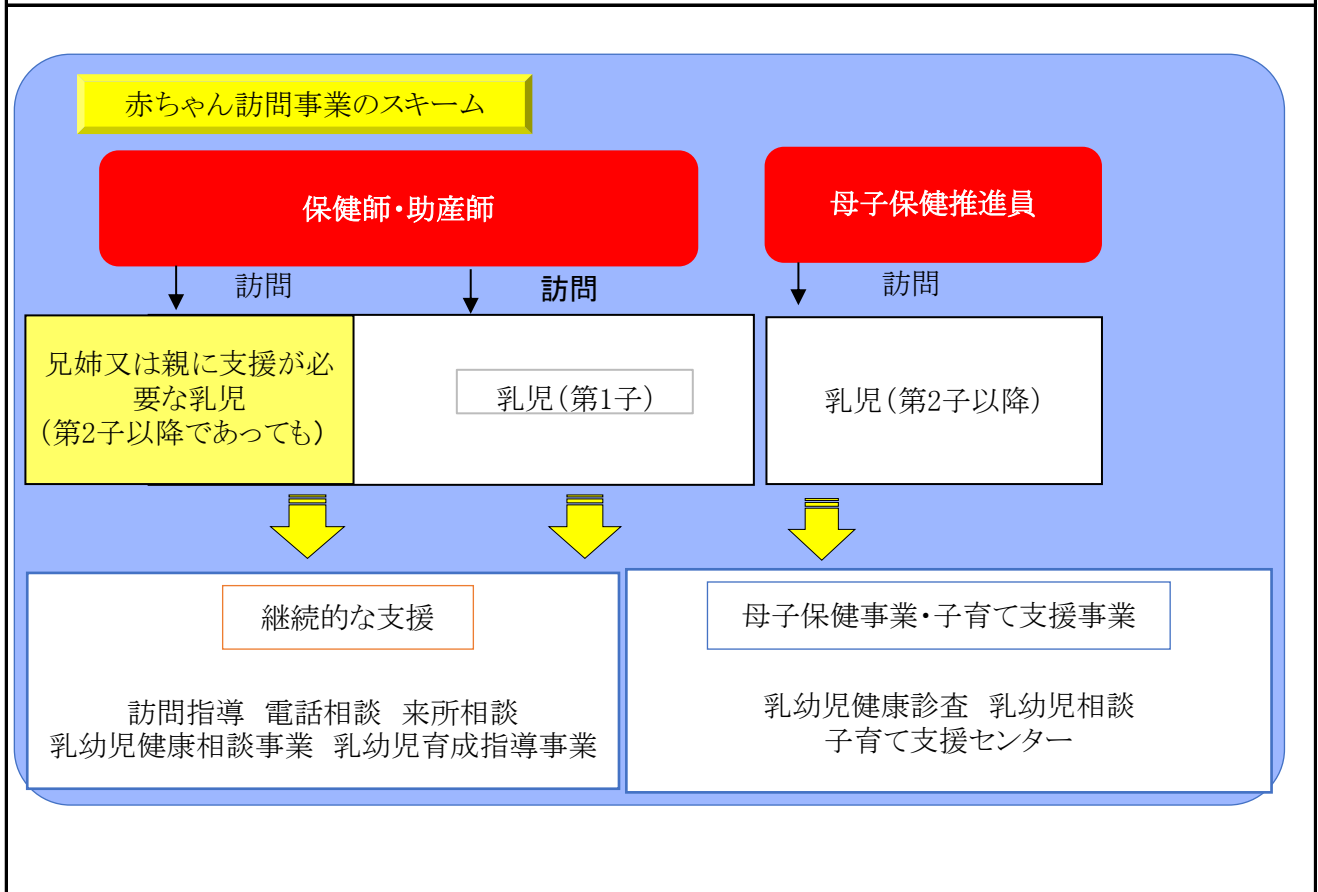
施策：親と子の健康増進

《 》は、29年度の当初予算

事業名：赤ちゃん訪問事業(妊産婦・新生児等訪問指導事業)	現状維持	予算額	7,159	千円
			《 1,994千円 》	
財源内訳	国庫支出金	2,029	千円	
	県支出金	2,029	千円	
	地方債		千円	
	その他		千円	
	一般財源	3,101	千円	

【事業の目的・概要・対象】

保健師・助産師が第1子、母子保健推進員が第2子以降の乳児家庭を生後4か月までに訪問して、育児の状況等の把握を行うとともに、適切な保健指導や子育ての情報を提供する。生後5か月以降の未訪問家庭に対しても、保健師が継続的に連絡を取り対応する。
また、支援を必要とする家庭には、子どもの成長等に応じて継続的な訪問指導や各種子育て支援サービスを提供する。



【背景】

近年は核家族化が進み、親族と離れたところで妊娠・出産することが多くなっている。さらに、社会心理的背景から親と子の関係に様々な事情を抱え、親を頼れない妊産婦が少なからずいる。妊娠・出産・子育てを行う家庭の孤立化を防ぐとともに、乳児の健やかな発達のためには、様々な関係機関や人が支援することが重要となっている。

担当課	こども未来部こども家庭課	問合せ先	0957-54-9100
-----	--------------	------	--------------

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	赤ちゃん訪問実件数（保健師・助産師）	目標値 件	593	593	594	595	596
②	赤ちゃん訪問実件数（母子保健推進員）	目標値 件	371	371	371	371	371

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	保健師・助産師訪問率	目標値 %	98.3	98.3	98.3	98.3	98.3
②	母子保健推進員訪問率	目標値 %	95.1	95.1	95.1	95.1	95.1

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費	1,415	1,653	1,518	1,994	7,159	7,159	20,898
国庫支出金	276	242	270	474	2,029	2,029	5,320
県支出金	276	242	270	474	2,029	2,029	5,320
地方債							0
その他							0
一般財源	863	1,169	978	1,046	3,101	3,101	10,258
人件費	6,350	5,105	5,714	5,714	5,714	5,714	34,311
職員	0.80人	0.70人	0.75人	0.75人	0.75人	0.75人	4.50人
時間外勤務	152h	84h	130h	130h	130h	130h	756h
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	2.00人	2.00人	4.00人
フルコスト	7,765	6,758	7,232	7,708	12,873	12,873	55,209

妥当性 (市の関与)	全ての乳児家庭を訪問し、支援が必要な家庭の早期発見・早期支援を図ることにより虐待等の防止につなげることができる。また、母子保健事業・子育て支援事業とを関連させて支援を継続することが必要である。
有効性 (施策貢献度)	育児に関する不安や悩みを傾聴するとともに、子育て支援に関する情報提供を行うことにより、乳児の健全な発達育成につながっている。
効率性 (コスト)	母子保健推進員は、地域内の家庭を訪問しており、身近な子育てサポーターとして活動している。また、スキルアップのため、年に2回の研修を行っている。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり